

尼北だより

学校通信 臨時号

平成29年7月19日

尼崎市立尼崎北小学校

校長 都倉 功充

体験、挑戦、夏休み

蝉の鳴き声が、日を増すごとに大きくなってまいりました。先日も、校門で登校してくる子どもたちを迎えていると、「やっと学校に蝉がやって来た!」と言っていました。一学期を終え、子どもたちが待ちに待った夏休みに入ります。今年は、土日を含めて42日間の休みがあります。夏休みは、普段の休日ではなかなかできない体験をしたり、目標を決めて挑戦したり、さらには、一学期の学校生活で培った学びを家庭や地域で実践したりできる期間です。

先日、朝の登校時に東門のところで蝉が羽化していました。緑色でよれよれの羽が、だんだんしっかりした羽へと変わっていきました。なかなか目にすることができない瞬間に、通りかかった子どもも保護者も立ち止まって見ていました。夏休みになれば、自然とたっぷり向き合うこともできます。五感を通して自然を感じ、感動を味わってほしいです。

また、夏休みには、たくさん本を読んでほしいと思っています。最近では、インターネットやテレビなどで瞬時に、そして映像で情報が入ってきます。しかし、文字を読み、素晴らしい表現に出会い、文字の裏の声を聞き、本の世界に思いをはせてみると、自分の世界も想像力も広がります。さあ、何冊読めるか挑戦しましょう。

さて、学校では、水泳教室やサマースクールを実施します。きっと、泳力を伸ばしたくましい体になる子や基礎学力をしっかりと身につけていく子が、続出することでしょう。学校として、全力で支援・指導してまいります。また、夏休み中子どもたちとふれあわないときは、職員も研修を受けたり、2学期に向けた勉強をしっかりと、教育力の向上に努めてまいります。

9月1日（金）元気な姿で会いましょう!

地域や保護者に支えられて

一学期、地域の方や保護者の皆様にお世話になりました。毎朝の登校や下校の見守り、学習への支援、図書を読み聞かせ、豆カウンターの飾り付け、遊びコーナーの実施など、数え上げると、きりがありません。尼崎市市内でも地域と連携した学校として有名ですが、それも「子どもは地域の宝だ」と考える皆様方のおかげだと、感謝しております。今後ともご支援くださいますようお願い申し上げます。



<ミニミニ緑日>



<7月の豆カウンター>



<読み聞かせ>

